

第2回大和市福祉有償運送運営協議会 会議録

■日 時：平成22年7月23日（金） 午後1時30分から

■場 所：大和市役所保健福祉センター5階501会議室

■参加者数 17名

出席委員 11名

石原啓子（会長）、永井圭子（職務代理）、居垣章子、八橋晟、大滝信一、森英志、
松園フミ子、片山鉦蔵、渋谷増夫、二見保彦（表決書）、遠藤恭弘（表決書）

（敬称略、名簿順）

事務局 4名

柳（健康福祉部次長）、小野（健康福祉総務課長）、山本、鈴木

オブザーバー 2名

赤堀、佐々木（たんぼぼ）

1. 開会

2. 会長あいさつ

本日は、大変暑い中、またお忙しい中本協議会にお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今より「平成22年度第2回 大和市福祉有償運送運営協議会」を開会いたします。本日は、特定非営利活動法人 たんぼぼが更新登録を申請されましたので、運営協議会にて審議をしたいと思います。

○委員の出席状況の報告及び配付資料の確認

3. 議 事

<協議事項>

（1）特定非営利活動法人 たんぼぼ（更新登録）について

○事務局より、運営協議会で協議を行う5つの事項について、「資料1：大和市福祉有償運送運営協議会 協議事項」「資料2：自家用有償旅客運送更新登録の申請に係る協議事項比較一覧」「資料3：たんぼぼ料金体系一覧表」に基づき説明。

① 自家用有償旅客運送の必要性

- ・ 12,544人もの移動に制約があると考えられる方々があり、毎年度こうした人の数が増加している。また、福祉タクシーの利用助成についても、交付状況が増加している。このことから、本市における自家用有償旅客運送の必要性は高いと考えられる。

② 運送の区域

大和市

③ 旅客から収受する対価

- ・ ①迎車料が1回 450 円、②走行料が1 k mあたり 40 円、③介助料金が 30 分で 450 円。また、車イス車両をご利用の場合は1回につき 700 円。今回の更新登録において、前回更新時からの対価の変更はない。

④ 運送しようとする旅客の範囲

- ・ 身体障害者、要支援・要介護認定者等、72 名の利用者が登録されている。
- ・ 区分ごとの合計数は、76 名となっているが、これは、利用者の中には複数の状態を抱えている方を重複してカウントしていることによるもの。

⑤ その他必要と認められる措置

- ・ たんぼぼの申請資料を基に事務局で確認した内容を報告。

(主な意見)

委員 神奈川運輸支局から表決書において意見が提出されているが、このことについて説明をお願いしたい。

事務局 表決書に付された意見について電話にて確認をさせていただいたところ、利用者から収受する介助料金の内容について確認を求めるものであった。このことについては、たんぼぼの介助料金は、乗降に係る介助と病院等での付き添い介助の料金であると確認している。

会長 付き添い介助が入ることだと、病院での付き添い介助も入るのか。

たんぼぼ はいる。

委員 介助料金の収受について、事前に説明をされると思うが、利用者からの不満はないか。

たんぼぼ 長時間の利用になる場合には、あらかじめ選択肢を提示し、市内の病院であれば、看護師に任せて一旦サービスを終了して帰ってくる。利用者が、付き添っていてほしいと希望した場合には、付き添いを継続している。

【確認事項】

○議決： 賛成 : 11名 反対 : 0名

過半数の賛成が得られたため、議題1については、協議が整いました。

<報告事項>

(2) 平成 22 年度福祉有償運送実績報告について

○事務局より、「資料4：平成21年度福祉有償運送実績報告」に基づき報告。

- ・ 4月～6月の実績について報告。
- ・ 桜学園については、平成22年度4月～6月においても実績が「0」である。
- ・ 活動時間については、国土交通省への報告内容にもない項目であるため、実施団体の事務負担軽減からも今後の報告内容から削除したい。

【確認事項】

- ・ 活動時間の報告は、今後の報告からは行わないことを合意

(3) 軽微な事項の変更について

○事務局より、軽微な事項の変更について報告。

- ・ NPO法人 桜学園が、福祉車両を1台増車した。

(主な意見)

委員 桜学園は、実績がないのに車両を増やしたのか。

事務局 桜学園は、大和市のほか、横浜市、相模原市等でも登録している。事務局が青葉区にしているが、これまで車両が1台しかなかったため、各地のニーズに対応できるのかという意見が各運営協議会から出されていたと聞いている。こうした意見に対応したのだと思われる。

委員 実績が「0」ということについて、前回の議事録をみると注視していくとあるが。

事務局 神奈川県内の運営協議会の事務局職員の連絡会議があるが、その場でも桜学園の実績が0であることが話題となり、注視していく必要があるということが話し合われていた。

委員 実績が「0」ということは考えられないが、何か理由はあるのか。

事務局 新規の登録のときに確認した内容だと、大和市内に所有する施設入居者の通院に活用するという事だった。ただし、施設入居者の通院については、基本的には親族に対応してもらうことにしており、何らかの事情により親族の対応ができない場合に、福祉有償運送を活用するという事だった。これまでのところ、こうしたニーズがなかったのかと思う。

(4) 事故報告について

○事務局より、「資料5：大和市腎友会 事故報告」に基づき、事故報告概要について説明。

- ・ 朝の6時の事故だった。相手方の信号無視による衝突事故。
- ・ 利用者を迎えにいくときの事故であったため、利用者は乗っていなかったが、車両は大破し廃車になった。ドライバーは、20日間の入院をされ、現在は通院加療中である。
- ・ 大和市腎友会は、7月22日に事故模様を見取り図にして安全討議を行っている。

(主な意見)

- 委員 事故が6時に起こっているが、朝礼はそれよりも前に行っているのか。
- 委員 5時45分から朝礼を行い、利用者の状態にあわせた対応を申し合わせたあと、車両点検をして出発する。距離の遠い人もおり、また朝7時30分には病院につくようにしている人もいるため、このくらいの時間に出発することになる。今回は、出発した直後の事故だった。
- 委員 透析の患者の人も透析が始まる時間に余裕をもって病院に着きたいという希望があるのか。
- 委員 透析患者にもいろいろな事情があり、また、透析の前に行うプログラムもある。人それぞれ事情が異なる。
- 委員 交差点の見通しはどうだったのか。
- 委員 見通しは決してよくない交差点。ただし、見通しのよい悪いだけではなく、安全確認をどのように行うかについて、大分議論を交わした。
- あとでわかったことだが、相手方の運転手は携帯電話を操作しながら運転しており、信号を見落としたということだった。我々もサービス提供において携帯電話で連絡を取り合うことが頻繁にあるが、携帯を使用する際には、必ず車両を駐車してから使用することを徹底するよう申し合わせた。また、携帯へかけるほうも、数回かけてとらなかったら折り返しにするというルールを共有している。

(5) 今後のスケジュールについて

- 事務局より、「資料6：今後のスケジュールについて」に基づいて、今後の福祉有償運送運営協議会のスケジュールについて説明。

【確認事項】

- ◆平成22年11月：協議メンバー改選
- ◆平成23年2月：第3回福祉有償運送運営協議会
主な協議事項：NPO法人 シニアネットワークさがみ の更新登録について
- ◆平成23年8月：第1回福祉有償運送運営協議会
主な協議事項：NPO法人 桜学園 の更新登録について

4. 閉会

○職務代理あいさつ

本日は、短い時間ではあるが、実際の事例に触れた内容もあり、有意義な時間になったかと思います。こうした実質的な協議をこれからも行っていきたい。これにて「平成22年度第2回 大和市福祉有償運送運営協議会」を閉会とさせていただきます。

(記録者：健康福祉総務課 鈴木)